

【事例1～「障害者お断り」の家～】

・ 家を借りるときに、こちらが「視覚障害者」であると告げると、「火を出されると困る」という理由で敬遠され、借りられないことが多い。

・ 障害者施設設置計画に対する反対運動。

(差別事例集「5 住宅」①・④より)

【事例2～ろう者への情報保障と見えない障害～】

通勤電車が人身事故などにより遅れた場合に、情報がうまく受け取れないために乗換などに聞こえる人よりも時間がかかり、会社に遅れてしまうことがあるが、その場合に上司から「ほかの人はそこまで遅れていないのに、なぜあなただけ遅れてくるのか？」と言われてしまう。事情を十分に聞いてもらえないまま怒られることも少なくなく、納得できないこともある。

(差別事例集「1 公共交通機関、公共的施設・サービス等」⑩より)

【事例3】

わたし こと にお 慢性疾患 があり、 がっこう 学校でも 就職 しても、 周りに 人の 配慮 が必要 だった。 がっこう 学校に 通って いたころは、 しぎょうしき 始業式 の日 には 必ず 担任 の 先生 に 自分 の 病気 の こと を 伝えて、 各教科担任 に 適切な 配慮 を お願い して ほしい と 伝えて いたが、 がっきゅうたん 学級担任 から 教科担任 に 伝わった ことは 一度 も なか った。 いっけん 健康 な 子 と まったく 変わらない よう に 見える から か、 なんかい 何回 体調 不良 を 訴えて も 「わたし 授業 が そんな に おもしろ 面白くない のか」 「こんかい 今回 は みのが 見逃した るけど 次 に たいいく やす 体育 休んだら しょうち 承知 せえ へんで」 など の しっせき 叱責 を 受ける こと が 多 かった。

さべつじれいしゅう 「5 教育」④より

【事例4～その親切、本当に親切？～】

・ 白杖^{はくじょう}を見て声^みをかけてくださり、誘導^{ゆうどう}をしてくださる親切^{しんせつ}な方もたくさん
いらっしゃるのですが、誘導^{ゆうどう}の仕方^{しかた}がかえって恐怖^{きょうふ}を感じたりすることがあ
って、でもそれが言えなくて困^{こま}ることもあります。

・ 親切^{しんせつ}でわかりやすいように気^きを使^{つか}って説明^{せつめい}や質問^{しつもん}をしてくださる人もいら
っしゃるのですが、その声^{こえ}がおおきくて、「障^{しょう}がい者^{しゃ}です」って周囲^{しゅうい}の人に知^し
れ渡^{わた}っている感^{かん}じがして、とても恥^はずかしい気持^{きもち}ちになってしまったことも
あります。

(差別事例集「9 その他」21・22より)